

# 1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山大学教育学部附属特別支援学校	実践者名	辻本 汐里
実践場面 (教科)	保健学習 (保健)		
単元・題材名	月経管理をしよう		
学習目標・ねらい	月経の周期について知り、自分で健康管理をすることができる。		
対象の児童生徒の 実態	高等部1年2名、3年2名 どの生徒も月経が始まっており、自分で処理することができる。月経期は月経カレンダーに記録をしているが、保護者が記入をしている生徒が多く、どの生徒も自分の月経周期を把握していない。また、1名の生徒はいつ月経になるかが分からず不安感を抱くことがある。		
活用の概要 (使用アプリ名を含む) ※写真も掲載する			
<p><b>【実践で使う機器・アプリ等】</b>                  機器：iPad    アプリ：ソフィ 生理管理/排卵日予測ができる生理管理アプリ</p> <p>第1時：iPadを使って月経期を記入しよう (保健学習 授業)                  目標： 月経時の身体や心について知り、教師と一緒にアプリ上にこれまでの自分の月経期を入力することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントのスライドを見ながら、月経時の身体の変化や月経周期について知る。</li> <li>・アプリ「ソフィ 生理管理/排卵日予測ができる生理管理アプリ」に自分の生年月日や体重を入力する。</li> <li>・これまでに記録をしている月経カレンダーを確認しながら、アプリ上にこれまでの月経期を記録する。</li> </ul> <p>第2時：月経期を確認やその日の体調の入力をしよう。(保健学習 授業)                  目標： iPadを使って翌月の月経期を確認したり、自分の体調や心理状態について簡単な入力をするすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリ「ソフィ 生理管理/排卵日予測ができる生活管理アプリ」から、翌月の月経予測日を確認する。</li> <li>・体調管理に関するアイコンの内容を教師と一緒に確認し、その日の体調 (腹痛、頭痛、落ち込んでいる等) について入力する。</li> </ul> <p>保健学習での取り組み後、夏季休業中に iPad を持ち帰り、日々の体調管理や月経期の入力を宿題とした。</p>			
<p>※授業で提示した パワーポイントのスライド</p>			
活用のポイント・改善策等			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な操作で入力ができるアプリを活用した。</li> <li>・持ち帰りを実施している夏季休業中に、学校で教員が操作を行う必要があるアップデートが生じたため、家庭での入力ができなくなった。</li> <li>・持ち帰るまでに入力の定着を図ることができず、多くの生徒は保護者の協力が必要であった。</li> </ul>			